

## 三重県鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

### I 概況

#### 1. 生産の動き

平成7年の県内鉱工業生産指数の年平均は、89.9（平成2年=100）で（年指数については、原指数による。以下同じ。）、対前年比2.5%の増加となった。四半期ごとの推移についてみると（四半期別指数については、季節調整済指数による。以下同じ。）1～3月期93.9（対前期比8.3%増）、4～6月期90.4（同3.8%減）、7～9月期89.0（同1.5%減）、10～12月期86.5（同2.8%減）と3期連続減少した。（表1、図1）

これを業種別に対前年比でみると、電気機械工業18.0%、化学工業10.1%、一般機械工業7.9%、非鉄金属工業6.5%、パルプ・紙・紙加工品工業4.1%、食料品工業1.3%とそれぞれ増加した。一方、繊維工業△10.1%、輸送機械工業△7.8%、金属製品工業△5.1%、プラスチック製品工業△3.5%、窯業・土石製品工業△1.9%とそれぞれ減少した。（表3）

また、財別に対前年比でみると、資本財10.8%、鉱工業用生産財4.4%、その他用生産財4.3%とそれぞれ増加した。

一方、耐久消費財△8.0%、建設財△4.0%、非耐久消費財△1.1%とそれぞれ減少した。（表5）

#### 2. 生産者製品在庫の動き

平成7年の県内鉱工業生産者製品在庫指数（以下「在庫指数」という。）の年平均は、104.4（平成2年=100）で、対前年比1.9%の増加となった。四半期ごとの推移についてみると、1～3月期101.9（対前期比7.8%増）、4～6月期106.1（同4.1%増）、7～9月期106.6（同0.5%増）、10～12月期103.4（同3.0%減）と3期連続増加したが、再び減少した。（表2、図1）

これを業種別に対前年比でみると、非鉄金属工業20.0%、電気機械工業17.8%、化学工業9.8%、繊維工業6.3%一般機械工業1.2%とそれぞれ増加した。一方、輸送機械工業△28.4%、窯業・土石製品工業△10.2%、食料品工業△4.4%、その他工業△4.1%、パルプ・紙・紙加工品工業△3.7%、金属製品工業△2.9%、石油・石炭製品工業△2.7%、鉄鋼業△1.7%、プラスチック製品工業△1.1%とそれぞれ減少した。（表4）

また、財別に対前年比でみると、資本財が11.3%、鉱工業用生産財7.0%、非耐久消費財1.2%とそれぞれ増加した。

一方、耐久消費財が△47.7%、その他用生産財△8.4%、建設財△7.0%とそれぞれ減少した。（表6）

#### （参考）全国の概況

平成7年の鉱工業生産は、前年比3.4%と2年連続の上昇となった。これを四半期でみると1～3月期に前期比1.1%と平成6年に引き続き穏やかな回復を辿った。その後4月～6月期同0.1%、7～9月期同△1.6%と生産は足踏み状態から弱含みで推移し、10月～12月期同2.1%と持ち直しの動きに転じた。

また、在庫は前年比2.3%と3年ぶりの上昇となった。

資料：通商産業大臣官房調査統計部編「生産活動からみた日本経済（平成7年年間回顧）」

「生産・出荷・在庫及び在庫率指数（平成7年年間補正指数）」